

普通に暮らせる日常の基盤を「紡ぐ」こと、それが機械職の使命です—

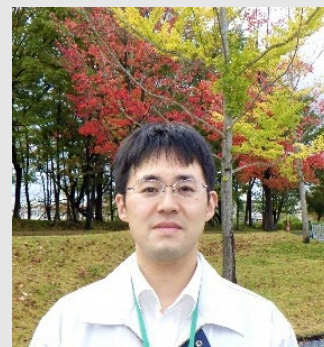
平成29年度採用

初任地

【本庁】土木部 建築総室 営繕課（福島市）

現所属（※令和3年度時点）

【派遣先機関】公立大学法人会津大学(※) 事務局 総務予算課
※県総務部 私学法人課から派遣



志望理由

地元愛に気づいて

大学生の頃、友人に「地元愛が強い」と言われ、初めて福島が好きだということに気づきました。他人に言われて意識し始めるなんて、まるで初恋のようですね。そんなこともあり、就職活動の際には、「大好きな福島に貢献するには自治体職員になれば良いんだ!」という安直な考えと機械系の学生として再エネの研究をしており、福島県が再エネ100%を目指していることから福島県職員を目指しました。

仕事内容 やりがい

会津大学の日常～施設管理～

会津大学で施設管理の建築設備（電気・機械）を担当しています。建築設備は建築物に付随する照明やコンセントなどの電気設備と水道やエアコンなどの機械設備の総称で、建築物の快適性を向上させるために欠かせない設備です。

会津大学は平成5年に開学した比較的新しい施設ですが、近年は老朽化が進み、毎日のように起こるトラブル（真冬に水道水を頭から浴びたり、外国籍の教員と言葉が通じなかったり、悪臭を放つゴミが捨てられていたり…）と格闘する様はドタバタホームコメディのようです。



▲ マンホール点検
木の根が詰まることも…

担当している本人としては真剣に仕事に取り組んでおり、学生や教員が安心して研究できる環境には何が必要かを考えながら仕事をしています。

会津大学は組織も施設も規模が比較的小さく、一つの担当で改修工事と維持管理の両方を担当するため、課題に気づきやすく、やりがいも感じやすい職場だと思います。

普段はメンテ業者さんや工事業者さんと協力して、改修計画を立てたり修繕を行ったりしますが、技術的な視点に加え予算管理なども求められる仕事です。

▼ 講堂 AV 機器操作
工事で最新機器に更新



職場の 雰囲気

仕事と人、現場、資格

入庁当初、建築設備の知識は皆無でしたが、同じような先輩職員が多く、親切に教えてもらえます。また、現場は教材であふれており、現場から学ぶことも多く、最初は不安ばかりでしたが、仕事をしながら建築設備に関する資格（建築設備士、第3種電気主任技術者、二級建築士）を取得することができました。

最後に 一言

モノづくりの楽しさと建築の奥深さに触れて

就職活動をしているときは建築関係の仕事をするようになるとは思っていませんでした。初めは不安でしたが、モノづくりの楽しさと人々の生活環境を作り出すという建築の奥深さ（と難しさ）に触れ、今では少しずつですが、面白さも感じるようになってきました。

それまでのバックグラウンドとは違う職種に就くことは自分の価値観を広げることに繋がります。また、建築という分野に別な分野からの新鮮な視点も必要だと思います。